

行財政改革市民会議(平成21年度第2回) 会議録

日時：平成21年10月28日(水)
午後7時～8時45分
場所：全員協議会室

出欠状況

委員長	副委員長				
長 島	新 井	朝 倉	内 田	小 森	笹 森
○	欠	○	欠	○	○
関 根	長	長 島	花 谷	柳 下	吉 田
○	○	○	○	○	○
その他の出席者		秘書広報課 戸賀沢			
事務局（政策財務課）		課長、古屋、中島			

内 容
<p>1 開 会 政策財務課長</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議 事 (1) 事業仕分け結果について ・資料に基づき、事務局より説明</p> <p>○質疑</p> <p>委 員：「改善」と仕分けされた事業については、予算面でメリハリをつけるのは難しい。歳出を削減するにも限度があるため、今後は、増収に力を入れるべきである。</p> <p>委 員：事業仕分けについては、国に先立って富士見市で実施でき、誇らしく思っている。今後は、事業仕分けを実施しただけで終わらせることのないようにするとともに、結果等については、市民に周知して欲しい。</p> <p>委 員：市民判定人として参加したが、説明者である職員の力量次第で、仕分け結果に違いが出たと思う。その場を取り繕うだけの説明やすれ違いの応答が行われたことで、「不要」と判定したものもある。</p> <p>委 員：「不要」と判定された事業についても、理由があつてのことだということがわかったので、納得できた。</p> <p>委員長：富士見市として初めての取組みであり、評価できる。仕分け結果については、1つの参考にするということによいと思う。職員はよい勉強ができたのではないか。今後も、市民と職員が一緒になってやっていってほしい。</p> <p>委 員：仕分け結果を踏まえ、市としての方向性はいつ決めるのか。</p> <p>事務局：年内には決定したいと考えている。</p>

委員：仕分け結果を踏まえ、実際に「不要」とした場合に費用がかかるものがあるのではないか。また、「改善」については、改善の内容をどうするのかということがあるので、それらを明確にした上で、市民に公表すべきである。

(2) 平成20年度行革実績について

・資料に基づき、事務局より説明

○質疑

委員：民間活力の導入については、コスト面での効果を求めているのか。また、指定管理者による管理の場合、責任の所在はどこにあるのか。

事務局：指定管理者制度の導入等については、コスト面だけでなく、サービスの向上も目指している。また、指定管理者に施設の管理を任せただけの場合、指定管理者の責めに帰すべきものを除き、責任は市にある。

委員：民間委託と指定管理者制度の違いは何か。また、指定管理者が管理している施設については、組織図上の位置づけがなくなるのか。

事務局：一般的な民間委託が個別の業務の委託であるのに対し、指定管理者制度は、施設の管理運営に関する業務を包括的に委託するものである。また、指定管理者が管理しているとはいえ、市の施設であることに変わりはない。

委員：職員の定員適正化計画の目標数値はどのようにして決めたのか。

事務局：指定管理者制度の導入等により削減可能な職員数を積み上げて算出した。

委員：農業委員会は職員3名体制だが、パトロールで2人外に出してしまうと、窓口対応が十分にできない場合がある。全ての課とは言えないが、法律的な専門知識が求められる部署などについては、職員配置に配慮すべきではないか。

事務局：市民の方の市役所を見る目は厳しいので、難しい面もある。

委員：市役所前の土地について、以前草刈りを行ったとはいえ、すぐに生えてくるものであり、このまま放置しておくのは見苦しい。本来は地権者の責任だが、強力なリーダーシップで対応してほしい。

委員長：市役所前のシティゾーンと水子のリブレーヌについて、現在の進捗状況はどうなっているか。

事務局：シティゾーンについては、遊水機能を持たせることを勘案すると、虫食い開発ではなく、一体的な開発がよいと考えており、地域の方との懇談会を立ち上げたところである。また、リブレーヌについては、具体的な動きはない。

(3) 広報モニタリングについて

・資料に基づき、秘書広報課より説明

○質疑

委員長：広報に関するアンケート調査は、今回のモニタリング以外にも行っているのか。

事務局：実施していない。

委員：広報ふじみの契約は、随意契約か。競争入札の場合、カラー印刷にしたとしても経費が変わらなかったという話を聞いたことがある。

事務局：広報ふじみの契約方法は、随意契約ではあるが、6社から見積もりを取っている。

所沢市では、競争入札により、白黒からカラー印刷にしても経費が変わらなかったと聞いているが、必ずしも、そうなるとは限らず、実際、富士見市においても21年度予算要求に当たり見積もりを取ったところ、二色刷りよりカラーの方が113万円高かった。

委員：落札業者は毎年同じか。

事務局：ここ数年は同じ業者が落札しているが、数年前には別の業者が落札したこともある。

委員：富士見市の場合、印刷だけでなく、印刷したものを130ヶ所に配達する経費も含まれている。これだけの内容のものを作るのは大変だと思う。

広報作成に当たっては、各課から提出されたものをそのまま掲載するのか。

事務局：広報の内容については、前年度後半と当該年度6月に各課に照会し、1年間の掲載内容をおおむね定めた上で、各課から提出された原稿をもとに編集している。そのまま掲載するとページが足りなくなるので、実際には、削除して掲載している。

委員：キラリふじみでも広報物を配布している。

事務局：それについては年4回作成している。

委員長：広報ふじみは、統合された教育委員会だよりに6ページ程度スペースを割かれている。

事務局：現在は、教育委員会だより2ページ分と生涯学習・キラリのページ4ページ分である。

委員：広報ふじみとは別に議会だよりもある。

事務局：議会だよりは議会事務局で対応しているが、経費節減のため、契約については広報ふじみと一本化して行っている。

委員長：アンケート調査を行えば、改めて広報を見るきっかけともなるので、できるだけ多くの人の意見を聞いた方がよい。また、市ホームページについても、市民の意見を聞きながら改善を図ってほしい。

(4) その他

事務局：次回会議は、2月末～3月を予定している。その際には、広報モニタリングでいただいたご意見の反映状況等について報告したい。

4 閉 会